

広報 いまべつ

平成21年
4月号
537

小・中卒業式他..... 1
平成21年度当初予算
..... 2、3
お知らせ..... 3、4
イマダス・町の宝..... 4

発行/青森県今別町 編集/総務課企画担当 ☎ 0174(35)2001 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス http://www.imabetsunet.pref.aomori.jp

今別小学校卒業式



在校生を前に「蕾（つばみ）」を涙で歌い上げる卒業生



卒業生は「知らないところがいっぱいあるから出発するので」と力強く巣立ちの詩を読み上げ、最後に「蕾（つばみ）」を全員で歌いだすと涙があふれ出しました。

3月19日、今別小学校の卒業式が行われ、21名の卒業生に浅利勝憲校長から卒業証書が授与されました。浅利校長は「初めから立派な人はいません。努力することが必要です。皆さんは、どんなことも可能にするすばらしい力を持っています。」と卒業生を励ましました。

春〜旅立ちの季節〜 門出を祝う

今別中学校卒業式



後輩から色紙を手渡され笑顔がこぼれる卒業生

3月5日、今別中学校の卒業式が行われ、28名の卒業生が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。五十嵐義人校長が一人ひとりに卒業証書を授与し、式辞で「自らの夢に向かって果敢に挑戦してほしい。自分の可能性を信じ、自分を磨いてほしい。大事なことは努力です。努力は絶対に無駄になりません。」と卒業生を激励しました。式後には、正面玄関を出る卒業生を待っていた在校生たちが、寄せ書きをした色紙や記念の品を手渡し、別れを惜しむ光景が繰り広げられました。



ヨガのポーズで筋トレを！

生活習慣病予防 セミナー開催

3月13日、開発センターにおいて生活習慣病予防セミナーが開催されました。セミナーには40名が参加し、町保健師（運動指導士）から「健診結果の見方と生活への活かし方」について講話を受けた後、ストレッチや正しいウォーキング方法を学びました。

定額給付金申請と 給付がスタート!



定額給付金受付初日は多くの町民が訪れました

役場から郵送された申請書に必要事項を記入して、集中受付日の3月17・18・19日に多くの町民が「定額給付金」の申請に訪れました。今後は、9月17日まで随時、役場総務課で受付します。（土・日・祝祭日は除く）申請書と本人確認書類、振込先の通帳、印鑑を持参のうえ役場へおいで下さい。なお、代理申請の場合は、代理人の本人確認書類が必要となります。申請を済ませた方には、後日、振込期日を通知します。申請から振込みまでは時間を要しますので、ご了承ください。

「道の駅いまべつ」アスкул テナントが決定



4月から「道の駅いまべつ」アスкулは、嶋中三也さん（今別）が運営します。

営業時間は、午前9時から午後6時まで。なお、食堂は午前11時から午後4時までです。地元産の農海産物の販売の他、食堂では「いのしし肉」を使うたメニューも予定されています。



次々とエコバッグが完成！折たたためて、もち運びにも便利です。

壊れた傘が エコバッグに

青森農協北地域女性部今別支部（支部長 川村弘江）では、壊れた傘の生地やヤッケ、風呂敷きなどを持ち寄り、資源の再利用としてエコバッグ作りを行いました。レジ袋の有料化に伴い、買い物にはエコバッグが欠かせなくなり、いくつあってもいいと、色とりどりのエコバッグが出来上がりました。

田辺聖子ジュニア 文学賞最優秀賞

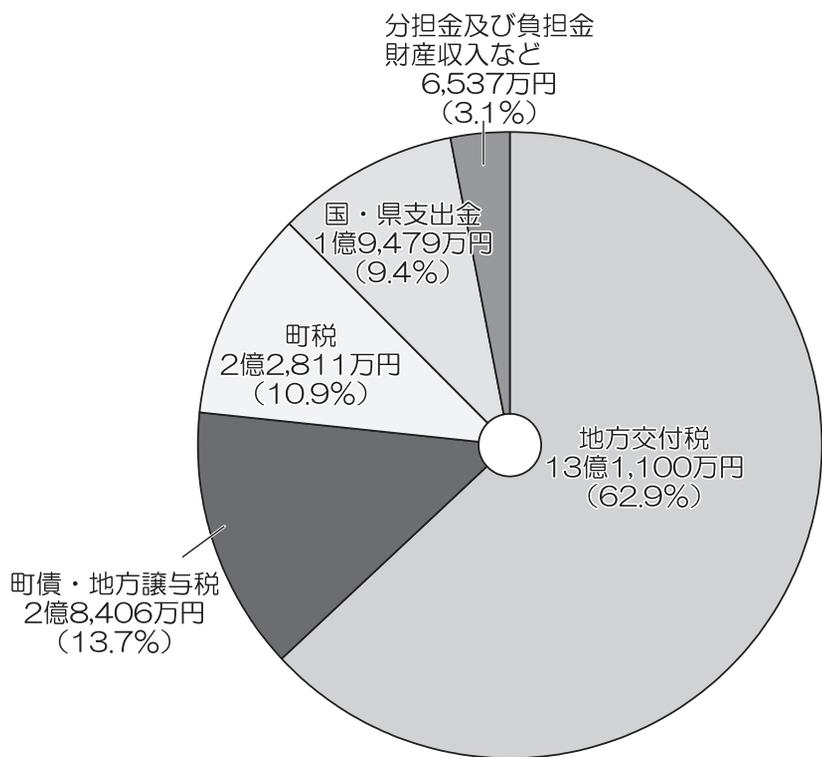


受賞を喜ぶ濱田さんと五十嵐校長

今別中学校3年の濱田実子さんの小説「カモメと象」が、第一回田辺聖子ジュニア文学賞小説部門の最優秀賞となり、さらに各部門の最優秀賞から選ばれた田辺聖子賞に輝きました。3月18日、東大阪市で行われた表彰式に出席した濱田さんは「田辺聖子さんにお会いできて、感動しました。これからも小説を書き続けたいので、今回の受賞は励みになりました」と話していました。

一般会計歳入予算

(入ってくるお金)



平成21年度の一般会計予算は
20億8千333万6千円
となり、前年度に比べ546万9千円の増額(0.3%)となりました。

平成21年度
今別町一般会計予算

一般会計
町民1人及び1世帯に使われるお金

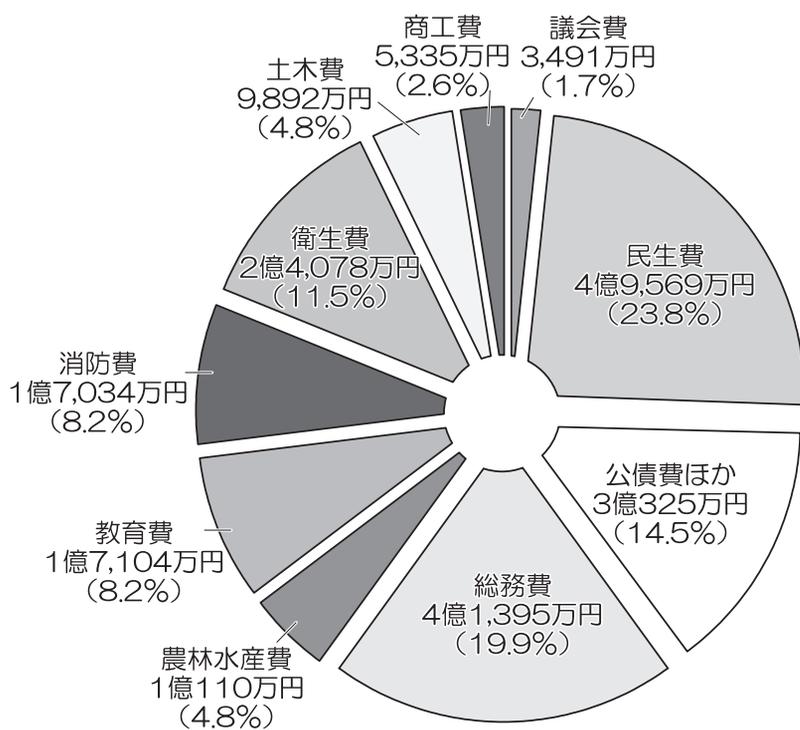
1人当たり
574,713円

1世帯当たり
1,302,899円

平成21年2月28日現在
人口 3,625人
世帯数 1,599世帯
を基に計算しました。

一般会計歳出予算

(使われるお金)



歳入

歳入は、自主財源の町税が前年と比べて5・4%減で1千313万2千円の減額となりました。人口の減や高齢化の進行に伴い、課税客体が乏しい町にとっては、ますます自主財源の確保が重要となります。

地方交付税は2・1%増で2千700万円の増額となりました。これは、国の「生活防衛のための緊急対策」に基づき地方公共団体が雇用創出等を図るとともに、「生活者の暮らしの安心」や「地方の底力の発揮」に向けた事業を実施することができるよう配分される見込みです。

その他の歳入としては、起債の発行となっています。平成21年度の一般会計予算は、最終的に887万5千円の財源不足となりました。このため、基金などを取り崩して対処しました。

平成21年度会計別予算額

会計名	当初予算額	増減率(%) (対前年度比)
一般会計	20億8千333万円	0.3%
特別会計		
国民健康保険特別会計(事業勘定)	6億9千294万円	0.3%
国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	1億6千304万円	5.5%
老人保健特別会計	65万円	△99.3%
後期高齢者医療特別会計	4千356万円	2.1%
介護保険特別会計(保険事業勘定)	3億8千147万円	△3.5%
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	6千11万円	△25.6%
簡易水道事業特別会計	1億2千312万円	△6.7%
合計	35億4千822万円	△3.3%

歳出

町の財政健全化を図る中で、住民の福祉、健康や所得向上につながる事業に配慮しました。

新規事業として、巡回バス購入事業1千27万円、継続事業として融雪溝新設事業5千801万円、浄化槽設置整備事業補助金として781万円をそれぞれ計上しました。

一部事務組合関係では、青森広域事務組合に清掃費負担金1億289万円、斎場費負担金3千65万円、広域消防事務組合に1億3千939万円の負担金を計上しました。

また、後期高齢者医療対策事業として、4千356万円を計上。さらに、事務事業の見直しにより各施設の運営費は、極力経費を削減し、必要最小限の予算を計上しました。

平成21年度の主要事業

○自然に恵まれた快適で生活環境が整ったまち

- ・融雪溝整備事業（継続事業） 5, 801万円
- ・巡回バス運行事業 1, 612万円
- ・新幹線対策事業 196万円

○基幹産業の確立と創意工夫性に富むまち

- ・漁港整備事業負担金 1, 000万円
- ・中山間地域等直接支払事業交付金 344万円
- ・町観光協会支援事業 140万円

○人間性豊かな教育文化水準の高いまち

- ・奨学金貸付制度事業 612万円
- ・外国語指導助手受入事業 442万円

○健やかで生きがいのあるまち

- ・後期高齢者医療対策事業 7, 105万円
- ・保健対策事業 936万円
- ・浄化槽設置整備事業 781万円

○心ふれあう連帯感あふれるまち

- ・地域インターネット事業 2, 157万円
- ・地域振興事業 321万円

特別会計とは

特定の事業ごとに分けたほうが効率的なものを、一般会計から切り離して経理する予算です。

今別町には7つの特別会計があります。

国保会計（事業勘定）

「国民健康保険法」による、被用者保険に加入していないすべての人を対象とした公的医療保険の事業に係る会計です。

国保会計（診療施設勘定）

「国民健康保険法」のもとに、地域住民の健康維持増進のために町で設置・運営している診療施設事業に係る会計です。

老人保健会計

「旧老人保健法」による後期高齢者の医療給付制度に係る会計で、20年度からは、後期高齢者医療会計に切り替えられています。

後期高齢者医療会計

「高齢者の医療の確保に関する法律」による後期高齢者（75歳以上及び65歳以上の一定の障害を有する方、若しくは寝たきりの方で青森県後期高齢者広域連合の認定を受けた方）の公的保険制度に係る市町村事務の会計です。

介護保険会計（保険事業勘定）

要支援・要介護状態となった方が介護、機能訓練等により日常生活を営むことができるよう、介護保険法により必要な保健医療、福祉サービスに係る給付を行う会計です。

介護保険会計（介護サービス事業勘定）

介護保険法による地域包括支援センター等、介護予防事業に係る会計です。

簡易水道事業会計

生活に欠かせない水を安心・安全・安定的に供給する事業を行うための会計です。

役場職員の人事異動をお知らせします

★ 町長部局

(4月1日付)

新			氏名	旧			備考
課(所属)名	担当	職名		課(所属)名	担当	職名	
総務課	新幹線対策	次長	阿部 純夫	町民福祉課	町民	次長	
	運転管理	総括主幹	明田 一夫	産業建設課	建設	主幹	
	総務主幹	相内 裕子		出納室		主幹	出納室兼務
	総務主幹	岩淵 健		派遣			
町民福祉課	税務主幹	嶋中 拓実		町民福祉課	町民	主幹	
	町民次長	小鹿 金吾		町民福祉課	福祉	次長	
	福祉次長	中野 信孝		包括支援センター		所長	
	福祉次長	工藤 明美		社会福祉協議会	研修	総括主幹	
	町民主幹	神 寿徳		産業建設課	産業	主幹	
福祉主幹	関 恵子		教育委員会部局から			社会福祉協議会研修へ	
	伊東 実		水道課		主幹		
産業建設課	課長	太田 平次	総務課	新幹線対策	次長		
水道課							
産業建設課	産業主幹	小鹿 輝美	総務課	税務主幹		農業委員会兼務	
水道課	主幹	平山 治門	総務課	総務主幹			
出納室	総括主幹	島中 陽子	町民福祉課	福祉	総括主幹		
包括支援センター	所長	吹田 良樹	派遣				
今別診療所	准看護師	本郷由美子	派遣				
議会事務局へ		南 邦比古	産業建設課		課長		
教育委員会へ		宮本 正道	派遣				
		阿部真紀子	派遣				

★ 議会事務局

新			氏名	旧			備考
課(所属)名	担当	職名		課(所属)名	担当	職名	
議会事務局		事務局長	南 邦比古	町長部局から			

★ 教育委員会

新			氏名	旧			備考
課(所属)名	担当	職名		課(所属)名	担当	職名	
教育課		次長	宮本 正道	派遣			
給食センター		調理員	阿部真紀子	派遣			
町長部局へ			関 恵子	給食センター		主幹	

★ 退職（3月31日付）

- 定年退職者 秋元 豊 定年退職者 高木専九郎
- 勲奨退職者 綿谷 優子 勲奨退職者 田中とし子

水田経営所得安定対策加入受付中！

水田経営所得安定対策の加入手続きが、平成21年4月1日から始まり
ました。

- ◆ 対象農業者：認定農業者（4ha以上）
集落営農組織（20ha以上）
地域水田ビジョンに位置づけられている地域の担い手
- ◆ 対象農産物：生産条件不利補正対策（麦・大豆）
収入減少影響緩和対策（米・麦・大豆）
- ◆ 加入手続き：21年4月1日（水）～6月30日（火）
固定払についても同時に受付します。

《お問い合わせ先》

青森農政事務所 農政推進課 TEL 017-777-3512

妊婦健康診査の公費負担を14回に!!

平成21年4月1日から、妊婦健康診査の公費負担を現行の7回から14回に拡充します。(なお、医療機関等が公費負担項目以外に実施した検査等の費用については公費負担にはなりません。)

妊婦さんの健康と安全なお産のためには、妊娠中の健康管理が大切です。妊娠に気づいたら必ず医療機関などで定期的に妊婦健康診査を受けましょう。

受診票は、妊娠届出の際に、母子健康手帳と一緒に渡します。

《問い合わせ》

役場町民福祉課 保健師 電話 35-2001



イ マ ダ ス

まちの行事予定

(4/1~5/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

4月6日	・春の全国交通安全運動 (15日まで)	総務
7日	・今別小、中学校入学式 ・教職員新任式《中央公民館》	教育
8日	・青森北高今別校舎入学式	教育
12日	・春の火災予防パレード	総務
14日	・今別中学校修学旅行 (17日まで)	教育
16日	・公民館講座開講式《中央公民館》	教育
17日	・山火事防止パレード	産業
30日	・軽自動車税納期限	税務
5月3日	・海峡いまべつ春まつり《さざなみ公園》	観光協

ブックスタート

(絵本のプレゼント)のお知らせ



平成21年度、今別町中央公民館では、赤ちゃんと保護者に絵本を介して、ゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけ作りを目的として、町内在住の乳児を対象に、健診時に絵本を1冊プレゼントします。

《問い合わせ先》

今別町中央公民館 TEL 35 - 2157

海峡の家「ほろづき」

眺海の森林「ケビンハウス」営業開始!

4月1日から海峡の家「ほろづき」とケビンハウスの営業が再開しました。連泊割引や季節の割引などもありますので、多くの方のご利用をお待ちしております。

営業期間は、海峡の家、ケビンハウスともに10月31日までとなります。

《予約及びお問い合わせ先》

今別町体験交流センター TEL 35 - 2091
または、役場総務課企画担当 TEL 35 - 2001

海峡いまべつ春まつり開催のお知らせ

日時 平成21年5月3日(日) 午前11時~午後5時
場所 海峡さざなみ公園(今別漁港 特設会場)

《問い合わせ先》

今別町観光協会(今別町商工会内)
TEL 35 - 2014

役場の業務時間が

4月1日から

午前8時15分から午後5時まで

となります

成田 樹史 ちゃん
(今別地区)

少しくらいやんちゃでも、心身共に健康に育ってくれれば言うことなし(の予定...)です。(母 絵里さんの願い)

町に住所を有する3歳以下(平成18年4月2日誕生日以降)の子どもさんを掲載しています。



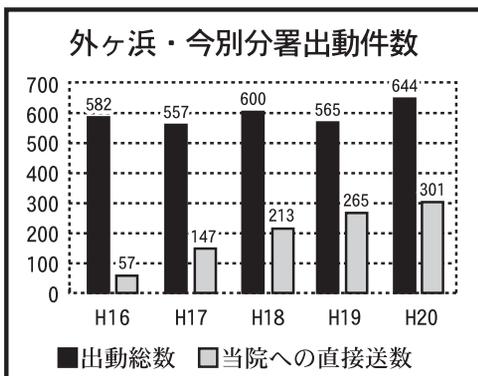
55 町のたから

救急車の適正利用を

最近救急医療に関するニュースが絶えず、世間でも関心が高まっています。都市部での問題ばかり取り沙汰されていますが、地域の現状はさらに厳しいと言えます。

今回、外ヶ浜、今別、蓬田地区をカバーしている外ヶ浜分署、今別分署の方々に協力していただき救急搬送症例について検討してみました。

グラフのように、年々救急車の利用回数は増加していますが、軽症例(入院を要しない)が依然3割を占めています。また、それぞれの分署には、救急車が待機していますが、年間20件前後2台とも出動していません(救急車が2台とも出動した場合、各分署に早く待機させるために、搬送途中で青森市の救急車に引継ぎするケースが年間20件前後あります)。軽症例の救急車利用やご家族の希望



による青森市内への直接搬送などのために、より長い時間その地域に救急車が不在になる可能性があります。本日に救急搬送が必要な方が救急車を利用できないということが、いつ起きてもおかしくない状況です。今別分署のデータから、青森市内の病院までの直接搬入だと電話を受けて

から、およそ80分かかると予想されます。その間医師が診察できないため、脳梗塞や心筋梗塞など重症例では経過に差が出てくる恐れがあるだけでなく、救急隊員へのストレスも計り知れないものがあります。

本来、救急要請があれば地元医療機関にまず搬送し、そこで青森市内への搬送決定を行います。外ヶ浜中央病院も、満床や重症患者対応のため受け入れできないことも年間20件近くありますが、出来る限り受け入れよう努めています。

町民の皆さんにはぜひ救急医療の現状をご理解いただき、外ヶ浜・今別の救急医療を守るためにも、適切に救急車を要請していただければ幸いです。もし、救急車を要請するが迷われた時は、いつでも外ヶ浜中央病院へご相談ください。

- ・外ヶ浜中央病院 TEL 0174-22-3450
- ・青森地域広域消防事務組合 中央消防署今別分署 TEL 0174-35-2119

お悔やみ申し上げます

中嶋 定雄 (88)	今別
宮越 専八 (92)	大川平
成田 ミサ (77)	浜名
小鹿 馨 (90)	大川平
工藤 しで (92)	今別
米田 九二男 (61)	斐月

今別の姿 (平成21年2月28日現在)

面積	125.28km ²
人口	3,625人(-11)
男	1,713人(-6)
女	1,912人(-5)
世帯数	1,599 (-5)
	()内は前月比

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課町民担当へ申し出て下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。



戸籍の窓口

(2月1日から28日の届出分)